

2011.8.29「野田ドジョウ内閣打倒宣言」

こんにちは、参議院議員の西田昌司です。

本日 8 月 29 日、民主党の代表選挙が行われ、野田佳彦代議士が民主党の代表に選ばれました。明日、30 日に衆参両院の本会議で首班指名が行われた後に、天皇陛下の任命を受け、野田内閣が発足される見込みです。

今回の選挙は菅総理がようやく辞任して、その後継の総理を決める選挙ですが、以前から私が申し上げてきましたように、民主党のどなたが選任されたとしても、日本の先行きは暗く、短命な内閣に終わると思っていますし、野田氏もその例に漏れないであろうと確信しております。

また、前原氏には先の外国人献金問題や、黒い人脈に繋がる方々との交際があり、前原氏が代表に選ばれなかったことは良かったと思います。しかし、野田氏も前原氏からその方の紹介を受けており、同様に交際し、献金を受けていました。

しかし最大の問題点はマニフェストです。野田氏は演説の最後に「マニフェストの精神は正しかったのだ」と言及し、それで党内融和を図るつもりだったようですが、一体このマニフェストの何が正しかったのでしょうか。野田氏は中産階級を守っていく為に手当や支出をしてきたと仰っていますが、このことは財源とセットで論ぜられなければ、政策として体を成さないわけです。理念以前に、野田氏は財源の裏付けがないマニフェストを菅内閣で財務大臣として

実行してきたこと自体にそもそもの過ちがあるにも関わらず、未だに反省しておらず、私は呆れてしまいました。これからもマニフェストにしがみつき、それを基に党内融和を図ろうという話は出鱈目です。まず、民主党が本当に国民の為を思うなら、マニフェスト自体を反省し、撤回しなければなりません。ところがマニフェストが金科玉条である為、彼らにはそれが出来ないのです。従って野田氏も菅・鳩山両氏と同じ方向でしか政策運営が行えず、行きつく先は自ずと見えてきます。

そのことに加えて、野田氏は財務大臣を経験されていることもあり、財務省に洗脳されているふしがあります。私は彼に財政金融委員会で、財政再建とデフレ脱却のどちらを優先するべきかと質問したところ、「両方大事である」と答弁されました。もちろん両方とも大事な問題ではありますが、デフレ脱却を先に行わない限り、財政の健全化は出来ないのです。このことを私は同委員会で説明してきたわけですが、野田氏に理解していただけませんでした。

もう一度デフレについて纏めてみますと、デフレというのは物価が下がり、経済の再生産を難しくさせる現象のことです。物価が下がることで生活費が浮き、楽になる一面もありますが、デフレが進むと経済の規模がだんだん小さくなってしまいます。中には給料と生活費の双方が下がれば、成り立つように思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、実際の経済は現金取引であり、物々交換ではなくて、信用取引で成り立っているわけです。信用取引の最たる

ものは何かというと、借入金を起こして、その資金で、投資をしたり、物を買ったり、家を買ったりすることです。ところがデフレになると、物価がどんどん下がり、売り上げも下がってしまいます。また給料も下がってしまうので、生活費も下げざるを得ないでしょう。

結果として相対的に借金の支払いの金額も膨らんでしまいます。額面は同じだとしても、給料が下がってしまうと返済能力もそれに比例して下がるからです。そうってきますと借金の返済が不可能になるのと同じように、企業も経済活動が出来なくなります。つまり、売り上げが減ってしまうと今までの借金は返済できなくなるということなのです。同じことが国の財政再建にも言えます。そもそも、国債を返還しようにも、デフレ経済下においてどんどん税収が減る仕組みになっているわけですから、そこを解決しないと借金の返済は出来ないのです。だから先ず、デフレを止めないとなければならないのですが、この点を野田氏は財務大臣時代に理解していなかったわけです。財政再建をする為に増税をするとか、その前に公務員の給与を減らすという議論もありましたが、このようなことをしてしまうと尚更デフレに歯止めがかからなくなってしまう。そうしますと、ますます経済が縮小してしまいますし、給料が減ることによって消費も減ってきます。その状態で増税してしまうと、民間に残るお金まで無くなってしまいますから、ますます景気が悪くなり、大不況が加速してしまうのです。つまり、野田政権の政策では不況に歯止めがかからな

くなってしまうということなのです。そしてこの内閣は不況の下で野垂れ死にするしか待ち受ける先はないと思っています。

野田さんは、自ら「自分は金魚のような綺麗なベベを着ることはできない自分はドジョウなのだ、ドジョウとしての生き様を見せていきたい」と仰っていましたが、まさに、野田ドジョウ内閣は野垂れ死にすること必至であります。そしてそのドジョウが誤った政策に汚染されているわけですから、土壤汚染内閣と言っても差支えないかもしれません。いずれに致しましても、我々は31日で終わる今国会ですが、野田大臣に対してそのようなことも含めて、まずは所信表明を聞き、それに対する代表質問、予算委員会での質問、これを早急にすべきであると訴えて参ります。その中で野田内閣は色々な問題点がある「土壤汚染内閣」であるということを国民に示していきたいと思っておりますと同時に、これからこの野田ドジョウ内閣を一刻も早く倒し、総選挙をして国民の信を問うよう野田内閣に訴えていきたいと思っております。

皆様方のご支援、よろしくお願いします。ありがとうございました。